

名古屋港ポートアイランドに関する記事のまとめ

名古屋商工会議所は、2015年10月、ポートアイランドをどう活用するか積極的な議論を始めるための官民の会議を5年以内に設立するよう、愛知県、名古屋市に要望、その上でリニア中央新幹線が開業する2027年ごろ、一部利用を始めたいとの展望を示した。
(中日新聞 2015/10/29)

財団法人中部経済連合会は「中部圏交通ネットワークビジョン」と題した政策提言をまとめ、ポートアイランドを自動車輸出基地として活用することを求めている。提言書は関係省庁、自治体に配り、今後のたたき台にする考えである。この中で、ポートアイランドにモータープールを作る、弥富市からポートアイランドを経由して岡崎市付近までを結ぶ「名古屋三河道路」の全線開通も要望している。
(中日新聞 2016/4/27)

名港管理組合は、ポートアイランドの活用策を探るため、道路や鉄道による対岸部とのアクセス調査結果をまとめた今後のルート選定のたたき台を発表した。
橋りょうの場合、延長約3400～7300メートル、事業費約1000～1800億円、トンネルでは、延長約2200～8300メートル、事業費約1300～3700億円と見積もった。今後、関係機関と協議し、土地利用の具体策を探る。
(日刊建設工業新聞 2017/4/30)

名古屋商工会議所が2016年度、非公開で開いた会合ではP I開発を巡り様々な意見が交わされた。「物流機能の強化へ港湾施設にすべきだ」「名古屋の魅力を高めるリゾート施設に」。名古屋商工会議所は提言をまとめるため、今夏にも港湾関連の会員企業や有識者による検討会を立ち上げる。検討会の事務局役となる名商企画振興部の大竹正芳地域・都市整備グループ長は「20年、30年先を見据えて企業活動や名古屋港にとってプラスになることを提言したい」と語る。山本亜土会頭も3月の記者会見で「これだけの土地が遊んでいる。活用が大きな問題だ」と述べた。
(日本経済新聞 2017/5/25)

日本野鳥の会愛知県支部は、名古屋港ポートアイランドを野鳥の保護区として利用すること、さらに環境学習の場として整備することを提言した。これは2010年に愛知県で開催された生物多様性条約第10回締結国会議(COP-10)で採択された愛知ターゲットの精神にも合致するものとして自然保護団体からは歓迎の声が上がっている。また一般市民の中にも同調する空気があるとして日本野鳥の会愛知県支部では今後、ポートアイランドを野鳥の保護区にする活動を盛り上げていく。(2017年6月ホームページより)